

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/8/17 ～2017/8/31 )

### 1. 勉学の状況

今月はまだ授業は始まっていませんが、オリエンテーションへの参加と履修登録をしました。オリエンテーションでは学生登録の方法や授業についての説明など大学生活に関することをはじめ、住民登録の方法などフィンランドに滞在するうえで必要な手続きについても説明があり、何をしなければならないかをひと通り確認することができました。

ひと通り確認できたと言っても、手続きを進めるうえで分からないことが多く出てきます。そのような時は、チューターやインターナショナルデスクという留学生の窓口にご相談しています。チューターもデスクの職員さんもとても親切で親身になって話を聴いてくれるので相談しやすく、いつも助けられています。

履修登録をしたと記しましたが、実際にはまだどのコースを受講するか決めかねています。興味深い授業が多くあり、なかなか選ぶことができません。もともと日本にいるときから絶対に履修しようと考えていた Identity and Lifecourse という教育学の授業と、Practical Observation of Finnish School System という現地の学校を見学できる授業はすぐに登録しましたが、フィンランドの教育の基本概念に関する授業や多文化教育についての授業、現在の教育の問題を様々な角度から考える授業などのうちどれをとるかで悩んでいます。また、フィンランド語や英語のコースも受講したいと考えているので、秋期セメスターは忙しくなりそうです(笑)。これらの授業は文献調査やディスカッションがメインで、エッセイも多く課されることが予測されるので、あまりに多くの授業をとると全てが中途半端になってしまうと思います。そのため、自分が全てのコースに全力を注げる限界の授業量を考えて、どれだけの授業を受けるか考えていこうと思います。



(タンペレ大学の写真)

### 2. 生活の状況

フィンランドに来てから 2 週間が経過し、ようやく生活が落ち着いてきました。最初の 1 週間は、学生登録やインターネットの接続手続き、銀行口座の開設など様々な手続きに追われてあまたふたしていましたが、それらが一通り終わって授業もない今は、友達と出かけたリイベントに参加したりして過ごしています。この 2 週間だけでも様々なことがありましたが、身の回りの

こと、参加したイベントについて、友達との交流についての3つに絞って書こうと思います。

まず、私はドイツ人の女の子と2人でルームシェアをしています。こちらに来るまでは、価値観の違いによる問題や仲良くなれるかを心配していましたが、そのような心配は一瞬にして消え去りました。一緒に住んでいる子はいつも明るくて、行動力があり、ただただ尊敬するばかりです。生活習慣にそれほど違いがないことも大きく関わっているかもしれません。一緒に住むうえでのルールは特になく、掃除はお互い気付いた時にするといった感じですが、何も問題なく楽しく暮らせています。

身の回りのことについて苦労しているのは、買い物で自分が何を買っているのかわからないことがあることです(笑)。近所のスーパーはかなり大きく、野菜もお肉もチーズも、何にしても何十種類もあります。野菜は見ればだいたいわかりますが、ハムやソーセージは何の動物の肉なのかわからないし、チーズはどんな種類なのかが全くわかりません。困ったら店員さんに聞くのですが、全てを聞くわけにはいかないの、だいたいのは「きっと〇〇(ほしいもの)のはず…!」と思って適当に買っています。ここまでわからないとなんだかおもしろいです(笑)。これから日常生活を送るうえで必要なフィンランド語を覚えていこうと思います。

今は年度初めであるため、様々なイベントが催されています。私はその中で、大学主催のちょっとしたパーティーと、Pub Crawl というパブをまわるイベント、サウナパーティーに参加しました。ここではサウナパーティーについて少し詳しく書いておきます。このパーティーは名前の通り、みんなでサウナに入ろう!というパーティーです。室温 90°C近いサウナに入り、暑くなったら水温 15 度ほどの湖に入るというのを 2.3 回繰り返しました。フィンランドの文化のひとつであるサウナを体験できたという点と、他の国から来た留学生と仲良くなれたという点で、参加して良かったと思いました。様々なイベントを通して多くの人と知り合いになり、友達をつくることのできる、あまり大人数が集まるイベントが得意でなくても少し頑張ってみることが大事なのではないかと思いました。

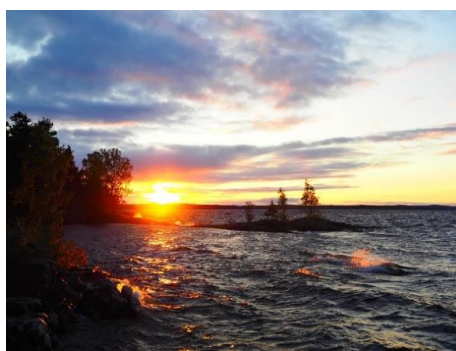
最後に、友達との交流について書こうと思います。最近は少し時間に余裕があるので、ルームメイトを含む何人かの友達と街や湖に行くことがあります。(タンペレは自然が豊かなだけでなく街が栄えているので過ごしやすいです。) また、自分の国の料理を作り合うこともよくしています。これまでに、ドイツ料理、日本料理、中国料理のパーティーをしました。私はもう一人の千葉大から来ている友達と日本の料理として手巻き寿司をふるまったのですが、想像をはるかに超えてみんな喜んでくれました。みんな楽しそうに巻いていて、おいしいと言って食べてくれました。イタリアから来ている子が、「イタリアでお寿司を食べた時はおいしくなかったけど、これはおいしい!これが本当のお寿司なんだね!」と言ってくれたのが嬉しかったです。(イタリアで食べたお寿司がどのようなものだったのか気になります)手巻き寿司はご飯を炊く以外はあまり手間がかからず、自分で好きなものを選べるので食べられない人がでることは無いため、外国人の友達とご飯を食べるときにはおすすめです。食事は良い交流の場となるので、これからもこのようなことは続けていきたいと思っています。

この2週間だけでいろいろなことがありましたが、正直なところ、最も多く抱いた感情は「し

んどい」でした。(もちろん楽しかったことや嬉しかったこともたくさんあります!!) 大変ではありますが、しんどいと感じることが多いことに対して嫌だとは思っていないし、むしろ課題が見えてくるので良いのではないかとさえ思います。心を許せる友達がほとんどいない状態で言語の壁があって、やり方が全然分からないのに多くの手続きをしなければならない状態でストレスが溜まらないわけがありませんし(笑)。問題が生じた時に自力で調べたり人に頼ったりしながら解決していくことで、少しは成長できるのではないかと思います。そのため、何か困難な状況に陥ったとしても悲観的になるのではなく、「成長のチャンスだ! やった!」と思えるぐらいのスタンスで、様々なことに積極的に取り組めたらいいなと思います。



中心街



近くの湖で見た夕日(午後9時頃!)



友達が作った手巻き寿司



フリーマーケットが行われていました